

平成26年度 上川管内中学校体育大会 代表決定戦 軟式野球大会 開催要項

1. 主 催

上川管内中学校体育連盟連絡協議会・旭川市教育委員会・旭川軟式野球連盟

2. 後 援

上川管内校長会・旭川市中学校長会・北海道新聞社

3. 主 管

旭川市中学校連盟・旭川軟式野球連盟

4. 期 日

平成26年7月11日（金）～12日（土）（雨天順延・・・予備日 13日 日曜日）

5. 会 場

東光スポーツ公園旭川ドリームスタジアム（旭川市東光25条26条8丁目）

6. 大会日程

<p>【7月11日金曜日】（雨天順延）</p> <p>8時15分 開会式</p> <p>8時30分 監督会議</p> <p>9時00分 第1試合（1回戦）</p> <p>11時00分 第2試合（1回戦）</p> <p>13時00分 第3試合（1回戦）</p> <p>15時00分 第4試合（1回戦）</p>	<p>【7月12日土曜日】（雨天順延）</p> <p>9時00分 第1試合（準決勝戦）</p> <p>11時00分 第2試合（準決勝戦）</p> <p>14時00分 第3試合（決勝戦）</p> <p>15時40分 閉会式</p>
---	--

前の試合が早く終了した場合、最大30分早く次の試合を行う
決勝戦は前試合終了後、50分後に行う

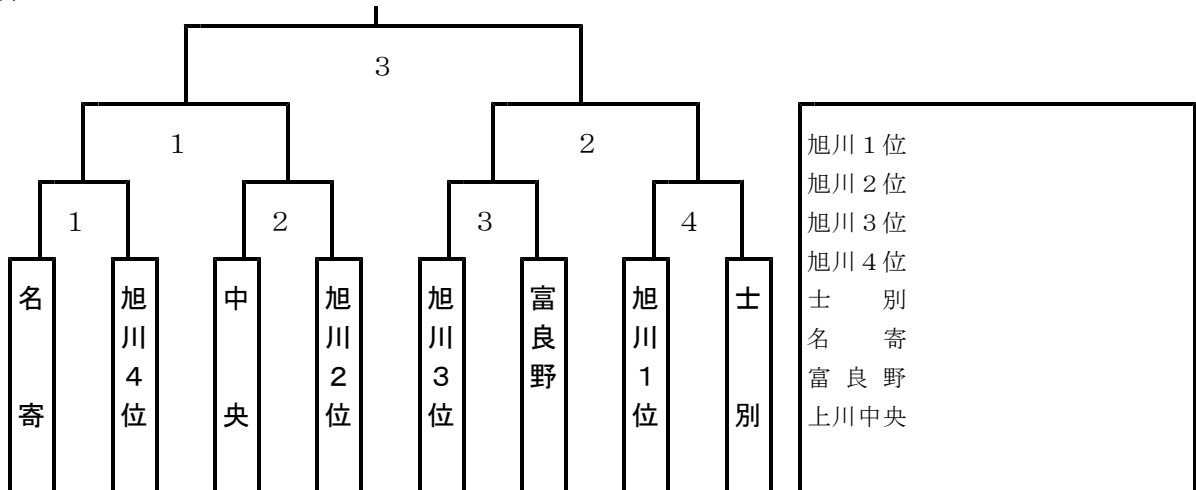
7. 問い合わせ

旭川市立広陵中学校

〒071-8132 旭川市末広2条7丁目2-41
 TEL 0166-57-7330 FAX 0166-57-7331
 E-mail postmaster@kouryou.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp
 担当：教頭 千葉 憲史 専門委員：下間 義光（神楽中）

雨天による試合の有無は、午前6時以降にお問い合わせ願います

8. 組合せ



9. 参加料および申し込み

4, 000円（当日、球場内本部席で受け付ける）
別紙により7月4日（金）迄にE-mailで当番校へ申し込むこと。
ただし、富良野地区については大会終了後FAXにて結果を送付し、7日（月）までにE-mailで受付を完了すること。また、雨天等で順延があった場合には、各地区から当番校連絡を受けた上で考慮する。

10. 大会役員

名誉会長	旭川市教育委員会教育長	小池 語 朗
大会長	上川管内中学校体育連盟連絡協議会会長	狩 野 博
副大会長	上川管内中学校体育連盟連絡協議会副会長	長谷川 伸 一
	旭川軟式野球連盟会長	加 藤 礼 一
	当番学校（旭川市立広陵中学校）校長	上 野 和 幸
専門委員	旭川市（旭川市立神楽中学校教諭）	下 間 義 光
	上川管内（名寄市立名寄中学校教諭）	村 田 一 也
事務局長	旭川市立広陵中学校教頭	千 葉 憲 史
審判長	旭川軟式野球連盟審判部長	李 沢 幸 悦
審判員	北海道軟式野球連盟旭川支部旭川軟式野球連盟審判部	
事務局	旭川市立広陵中学校教職員	
補助員	旭川市立広陵中学校生徒	

11. 球場使用にあたっての注意事項

- 次の試合の選手は30分前に待機すること。
- 応援の際、吹奏楽の演奏・太鼓の使用は、節度をもってお願いします。
- 雨天時は、陸上競技場スタンドを待機場所として開放する。
- 練習会場は、ドリームスタジアムとサブ球場の間の広場を使用してください。（別紙参照）
（スパイク使用不可・練習後のグラウンド整備は不要。）

12. 監督会議について

監督会議に不参加の参加校については、協議について一任したものと見なします。変更等が出た場合には、事務局よりご案内いたしますので、到着後速やかに本部席へお越し願います。

13. 競技方法と大会規定

- 1 各チームは、単一学校の在校生で編成され、当該中学校の教職員の身分を持つ指導者、または、当該中学校長が認めた者の引率・指揮するチームであることを、出場資格とする。
ただし、該当地区中体連会長が認めた合同チームはこの限りではない。
- 2 2014年度「全日本軟式野球規則」及び、この「大会規定」を適用する。
- 3 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
- 4 延長戦は9回迄とする。ただし勝敗が決しない場合、以下のような特別ルールを適用する。

【特別延長戦】

継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁・3塁の走者は順次前の打者とする。
すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
勝敗が決しない同点の場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。
なお、通常の延長戦同様、規定によって認められる選手の交代は許される。

- 5 得点差によるコールドは5回終了以降7点差とする。ただし決勝戦はこれを適用しない。
- 6 降雨・日没等で試合続行不可能と審判団及び当番校が判断したときは、5回終了前であれば再試合、5回終了後は同点の場合サスペンデッドゲーム（後に続きを行う）、点差があればその時点で決着とする。ただし、決勝戦ではこれを適用せず再試合とする。

- 7 前の試合が早く終了した場合、最大30分早く次の試合を行う。決勝戦は前試合終了後、50分後に行う。
- 8 各回交代時の投手の投球数は、大会の進行の上から制限することがある。また、投手からのサインは禁止する。
- 9 テーピング及びサポーターについては、大会本部に申し出て、けが等で必要と認められたときのみ許される。ただし、投手の指先は禁止する。
- 10 突然の事故が起き、一時走者を替えたいときは、審判に申し出て、審判団が必要と認めるときは、これを許可することができる。なお、この場合は、(公財)全日本軟式野球連盟(以下「全軟連」という) 競技者必携 競技に関する連盟特別規則八を適用する。
- 11 打者が「タイム」を要求するときは、投手が投球の構えに入る前でなければならない。(全軟連競技者必携 競技運営に関する連盟取り決め事項10(7)②ウ中段) また、打者がサインを見るときは、バッタースボックス内で見るとする。(全軟連競技者必携 競技運営に関する連盟取り決め事項10(5)ウ)
- 12 ルール適用に対する疑義の申し出は、監督または該当選手に限る。また、審判員の判定に対しては抗議できない。
- 13 公認規則3.03原注〔前段〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他に守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。」は、本大会では適用しない。
- 14 公認規則8.06(監督が投手のもとへ行く制限)および、全軟連 競技者必携競技に関する連盟特別規則十三の1・3、及び十四に関わる部分については、次のように規定する。

1— 監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。また、交代した投手が、他の守備位置につくことが許される。

なお、交代した投手が、他の守備位置についたときは、同一イニングでも再び投手に戻ることが許される。

3— 攻撃側のタイム中に、守備側の監督またはコーチが投手に指示を出すことは差し支えない。しかし、プレーの再開を遅らせた場合は、投手のところへ一度行ったこととする。ただし、コーチはベンチから出ることはできない。

十四— 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数を3度以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は、2イニングスに1度行くことができる。

野手(捕手を含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1回として数える。投手交代の場合は、その回数には含まない。尚、攻撃側のタイムも3度以内とする。

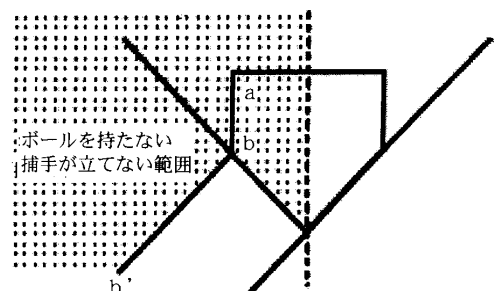
- 15 全軟連 競技者必携 競技に関する連盟特別規則十七の2「少年部・学童部の投球制限」は本大会では適用しない。
- 16 公認規則7.06(a)【付記】(捕手のブロック)の適用について、中学校野球では、『ボールを保持している時しか塁線上に位置することはできない』こととする。

[規則適用上の解釈]

①走塁妨害を適用するのは、あくまでも捕手のその行為がなければ、当然本塁に到達できた、と判断できる場合である。

②捕手が走塁妨害にもかかわらず、瞬間的に『アウト』のコールをした場合でも、改めて「オブストラクション」の宣告をしない。

③走塁妨害適用外であってもそのような行為があった場合は、試合を停止したうえ、捕手に対して厳重注意すること。



- ④ボールを保持する前に立つ位置は、次の通りとする。
 - ・ホームベースの中央線より右側に立ち、ベースの左半分が走者に見えるようにすること。
 - ・また、捕手がホームベースより後方に位置する時でも、ホームベースと三本間のラインが重なる三塁よりの接点（別図b点-b'）から前方に出てはいけない。
- ⑤ボールを保持している時は、塁線上に移動してタグしてもよい。

14. 使用球及び用具など

- 1 使用球は、全軟連公認B号とする。
- 2 バットは木製バット、及び全軟連公認のバットのうち、原則としてJ.S.B.Bのマークをつけた全軟連公認の「軟式用」（但し、軟式少年用を除く）の表示のあるものとする。（全軟連 競技者必携 全軟連規定細則第12条 3）
- 3 事故防止のため打者、次打者、走者およびベースコーチは両耳ヘルメット、捕手はマスク、スロートガード、レガーズ、ヘルメット、プロテクター及びファウルカップを必ず着用すること。なお、用具はいずれも全軟連公認のものであること。（全軟連 競技者必携 全軟連規定細則第12条 4）
- 4 バットリング、鉄棒等の持ち込みを禁止する。
- 5 手袋の使用は認めるが、色は白か黒とし、無地の安価なものとする。サポーター機能付き手袋の使用は認めない。また、試合進行に支障のないように使用すること。
- 6 ユニホーム、用具類は、華美にならないように留意すること。また、リストバンド、ハイカットストッキングおよびソックス一体型のストッキングは禁止する。
- 7 ユニホームは、下げすぎないようにし、ストッキングをはっきり見えるようにすること。なお、個人名入りのユニホーム及び下位のロングパンツは禁止する。
- 8 スパイクは、同一色とする。ライン・商標等で色が異なるものは禁止する。
- 9 スコアラーの服装は、試合着・練習着・学校ジャージまたは、学校標準服とする。
- 10 監督及びコーチのユニホーム、帽子、ストッキング等は、選手と同一であること。背番号は監督が30番とし、コーチは29、28番とする。（シューズについても選手と同色の物が望ましい）
- 11 部長（教員）1名・監督（教員）1名・コーチ2名とスコアラー及び18名の選手がベンチに入ることを認める。
- 12 女子スコアラーは、制服またはジャージを着用する。
- 13 コーチは、試合前のノックを行う時以外は、ベンチからでないこと。

15. 競技運営に関する取り決め事項

- 1 開会式は全チームの参加を原則とするが、第3・4試合のチームで学校所在地が遠距離の場合は、当番校事務局へ連絡の上、不参加を認める。
- 2 前年度優勝チームの監督と代表選手は開会式に参加することを原則とするが、今年度の本大会への出場権を得なかったなど特別の場合、当番校事務局へ連絡の上、今年度の該当地区の中体連代表校が代理で返還をすることも可とする。
- 3 選手宣誓は旭川地区1位チームの選手が行う。
- 4 閉会式は決勝進出の2チームで行う。
- 5 ベンチは若い組合せ番号の方を一塁側とする。
- 6 オーダー用紙は、前試合の4回終了時に主将が3部を本部に持参し、先攻・後攻を決める。
- 7 両チームの先発バッテリーは、メンバー用紙交換後、指定されたブルペンの投球練習を認める。ただし、試合中のチームの了承を得ること。
- 10 守備・投手の変更は監督が球審に告げる。
- 11 投手はプレートについてサインを見ること。（ボークは1回目からとる）
- 12 2塁走者やコッチャー・ベンチからの打者に対する相手捕手のサイン等の指示を禁止する。
- 13 メガフォンは監督のみ使用を認める。
- 14 アピールできるのは監督・該当選手のみとする。
- 15 グランドの出入りの際は、整列して挨拶を行う。
- 16 バットの受け渡しは手渡しで行う。

- 17 ネクストバッターボックスでは投球時は低い姿勢で待機する。
- 18 シートノックは、後攻側から始めて5分以内とし、ノッカーは必ずチームと同一のユニフォームを着用することとする。3名迄の補助員（練習着、学校ジャージでも可）を認める。ただし、実施するのは1回戦のみとし、前試合が長引いている時や、悪天候の際等は省略する場合がある。シートノックを行っていないチームの選手は、ベンチ内、またはベンチ前で待機する。ファウルエリアで素振りなどは行わない。シートノックの際のノッカーにボールを渡す生徒はヘルメットを着用すること。
- 19 イニング交代の時、守備側の控え選手はベンチ内またはベンチ前で待機する。（控え選手が声出しのためにファウルライン近くまで出ていくチームがあるが、危険であり、試合の進行を早めるという観点から声出し等はベンチのすぐ前で行うように）
- 20 イニング交代の時、攻撃側の選手は次打者以外はベンチを出て素振りをしてはいけない。

16. その他の事項

- 1 やじは絶対に慎むこと。素晴らしいプレーには、敵味方関係なく拍手を送るよう努めること。
- 2 試合終了後の挨拶ですべてを完了とし、相手ベンチや本部への挨拶は省略し、次の試合のためにベンチを速やかにあけること。なお、準決勝後は、3位表彰があるので大会本部の指示に従うこと。
- 3 監督会議で説明又は決められた事項は、選手全員にかならず徹底させること。
- 4 選手の頭髪、身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合の前後においてもスポーツマンらしく、マナーには十分留意すること。
- 5 チームの応援旗は、プレーの支障のないように、フェンスの裏に張ったりポールを持参して張るなどの工夫をすること。
- 6 応援団は、次の事項を守ること。なお、各チームの監督は責任をもって指導すること。
 - ・紙吹雪、テープ、個人名を書いたのぼり等を禁止する。
 - ・自チームの応援については全責任を持つこと。
 - ・拡声器や音響機器の使用は禁止する。吹奏楽は可。
 - ・投手が投球動作を起こすと同時に歓声を上げたり、鉦や太鼓を鳴らすなどの応援は慎むこと（継続して応援はよい）。
 - ・応援団席を散らかさないこと。また、ゴミ処理等は応援者各自が行うこと。
 - ・その他中学生らしからぬ行為をしないこと。
- 7 選手等の移動に必要な交通手段などは、参加校の責任で行うこと。
- 8 大会中（地方からの往復経路移動を含む）の不慮の負傷・疾病等については、野球場内での負傷等の応急措置を施すがそれ以上の責任は負わない。
- 9 その他定めのない事項は、公認規則、アマチュア野球内規、全軟連で定める競技運営に関する連盟取り決め事項、競技に関する連盟特別規則、競技者規定・細則を準用するほか、北海道中学校体育連盟、同軟式野球専門委員会及び監督会議の定めることによる。

平成26年度上川管内中学校体育連盟
上川管内代表決定戦軟式野球大会参加申込書

学校	立			中学校
	住所	FAX		
	電話			
代表地区	旭川1位 上川中央	旭川2位 富良野	旭川3位 名寄	旭川4位 士別 (該当を○で囲む)
校長		部長		
監督		コーチ		
主将		スコアラ		

背番号	選手名	選手名読み仮名	守備位置	学年
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

開会式は1日目第1・2試合の組合せチームが参加して下さい
第3・4試合の組合せチームは開会式の参加を選択して下さい
(右枠欄いずれかを○で囲む)

参加する	参加しない
------	-------

主将は背番号を○囲み願います
外部指導者の部長・コーチ・スコアラは役職名
(部長・コーチ・スコアラ)を○囲み願います

※締め切り 7月4日(金) ただし富良野地区は7日(月)まで 注)要項の9を参照
※送付先 〒071-8132 旭川市末広2条7丁目2-41
旭川市立広陵中学校 教頭 千葉憲史
TEL 0166-57-7330 FAX 0166-57-7331
E-mail postmaster@kouryou.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp